

## 勧誘メールに対する断り方

—日本人大学生とタイ人大学生の意味公式使用の比較—

ラッタナーポーン・チャイモンコン

教育学部・交換留学生

群馬大学

15184001

## 目次

- 1.はじめに
- 2.研究目的
- 3.先行研究
- 4.研究方法
  - 4.1 アンケート調査
    - 4.1.1 予備調査
    - 4.1.2 本調査
  - 4.2 分析方法
- 5.結果
- 6.まとめ
- 7.参考文献

## 1.はじめに

日本語を勉強するタイ人やタイ語を勉強する日本人の数が増えている。日常会話で母語話者同士でも断りの場面は難しく、どのような返事をすればいいか困るシチュエーションがある。特に、外国人にとってどんな断り方が相手の気分を悪くするか分からないため、母語話者の気分を悪くしないように断ることは難しい。「依頼」、「勧誘」、「申し出」など様々な場面に対する断りがあって「依頼」と「申し出」に対する断りの先行研究が多い。

だが、若者にとっては勧誘を断る場面が多いと思うので、勧誘の断りはどうやって行われているかについて明らかにしたいと思う。

そこで、本稿では、勧誘場面における日本人大学生とタイ人大学生の断り方について考察することによって、日本語の断りの手段とタイ語の断りの手段はどうなっているのだろうか、どう違うのかということと比較する。

以下では、まず、日本人大学生とタイ人大学生にとって勧誘の場面でどう断るかをアンケート調査し、その結果について考察する。

## 2.研究の目的

日本人の友人に誘われた時、自分の断り方が、相手の気分を悪くしていないか心配になった。そして、タイ人と日本人の断り方が違うかどうか興味を持った。

勧誘場面における日本人大学生とタイ人大学生の断り方について調査、分析し、日本語の断り方とタイ語の断り方はどうなっているか、どう違うかということと比較し考察する。

### 3. 先行研究

成田昌子・成田高宏(2010)と伊藤恵美子(2010)のタイ語と日本語の断りの研究(申し出・依頼場面)についての研究を読んできた。

また、吉田好美(2011)の勧誘場面の断りの研究も読んできた。この3つの研究は様々なシチュエーションの断りを調査分析した研究である。

その後、成田昌子・成田高宏(2010)と生駒知子・志村明彦(1992)の意味公式を作成するとき参考とした。

### 4. 研究方法

#### 4.1 アンケート調査

##### 4.1.1 予備調査

予備調査は、タイ人大学生2名と日本人大学生2名を対象にアンケート調査8問を行った。

##### 4.1.2 本調査

本調査は、タイ人大学生20名と日本人大学生20名を対象にアンケート調査8問を絞って4問を行った。

質問紙には上下、親疎関係、勧誘の内容を踏え、4つの「勧誘の断り」場面を用意した。本調査を利用した。次のような表1 場面構成について表す。

表1 場面構成

問	上下	親疎	「勧誘」の内容
問1	同等 (友達)	親	カラオケの誘い (行きたくない気分)
問2	同等 (友達)	親	カラオケの誘い (アルバイトで行けない)
問3	目上 (先生)	親	食事の誘い (行きたくない気分)
問4	目上 (先生)	親	食事の誘い (アルバイトで行けない)

## 4.2 分析方法

勧誘の断りに対する意味公式を生駒・志村(1992)と成田・成田(2010)などを参考に作成した。

意味公式とは、生駒・志村(1992)によると、「謝罪」、「言い訳」、「代案」など、人がものを断る時に使う言葉を、その意味内容によって分類したものである。

例えば、友達からカラオケのメールをもらった時、「今日バイトで...ごめんね」と断った場合、この断りは、「言い訳」と「謝罪」という二つの意味公式からなると分析する。

アンケート調査で集めた断りの表現を意味公式に分類した。次のような表 2「勧誘の断り」の意味公式について表す。

表 2 「勧誘の断り」の意味公式

「勧誘の断り」の意味公式		
	タイ語	日本語
<b>I 直接的な断り</b>		
<b>a. 遂行動詞を使う断り</b>		例: 今回はお断りさせていただきます。
<b>b. 遂行動詞を使わない断り</b>		
<b>b1. やる気否定</b>	例: ไม่ไปนะ(行かないね。)、 วันนี้ไม่ค่อยอยากไป(今日はあまり行きたくない。)	例: 行きたくない。今夜は遠慮させてください。
<b>b2. 能力の否定</b>	例: ไปไม่ได้(行けない。)、 วันนี้ไปไม่ได้จริงๆ(今日は本当に行けません。)	例: 参加できません。行けません
<b>II 間接的な断り</b>		
<b>c. 謝罪</b>	例: ขอโทษด้วย(すみません。)、โทษที(ごめんね。)	例: すみません。申し訳ありません。
<b>d. 残念な気持ち</b>	例: เสียใจจัง(ざんねんだなあ。)	例: 残念。
<b>e. 理由</b>		
<b>e1. 本当の理由を言う</b>	例: วันนี้ไม่ค่อยอยากไป(今日はあまり行きたくない。) วันนี้มีงาน(今日はバイトがあるんだ。)	例: 今日はカラオケに気分ではないんだ。 今日はバイトの予定が入っているので。

<b>e2.本当の理由を言わない</b>	例: การบ้านยังไม่เสร็จ (宿題はまだ終わってないんだ。)、วันนี้รู้สึกไม่ค่อยดี (今日はちょっと具合が悪いんだ。)	例: ちょっと用事があるそうから。先に予定が入っているため。
<b>Ⅲ 断りへの付加詞</b>		
<b>f.感謝</b>	例: ขอบใจที่ชวนนะ (誘ってくれてありがとうね。)、ขอบคุณที่ชวนนะค่ะ (誘ってくださり、ありがとうございました。)	例: 誘ってくれてありがとう。声を掛けて下さりありがとうございます。
<b>g.約束</b>	例: ไว้วันหลังนะ (今度ね。)、ไว้โอกาสหน้านะ (また次の機会ね。)	例: また今度遊ぼう。また機会がありましたらよろしくおねがいします。
<b>h.好意的</b>	例: อยากไป (行きたい)、น่าสนใจมากเลยค่ะ (とても面白そうですね。)	例: とても行きたかった。行きたいのは山々ですが。
<b>i.回避(言語的)</b>	例: เลื่อนไปเป็นวันอื่นได้ป่าว (他の日を変更できる?)、เข็นนี้หรือคะ (今晚ですか?)	例: カラオケ?
<b>j.絵文字/スタンプ</b>	例: ^^	例: (T^T)、^^
<b>k.その他</b>	例: พวกแกไปกันเลย (どうぞ先に行って。)、ร้องคือด้วยนะ (私の分まで歌ってね。)	例: 先生、久しぶりです。
<b>*断らない</b>	例: ค่ะ ได้ค่ะ (はい、できます。)、ค่ะไปค่ะ (はい、行きます。)	例: 参加させていただきます。

## 5.結果

表3 意味公式の利用率

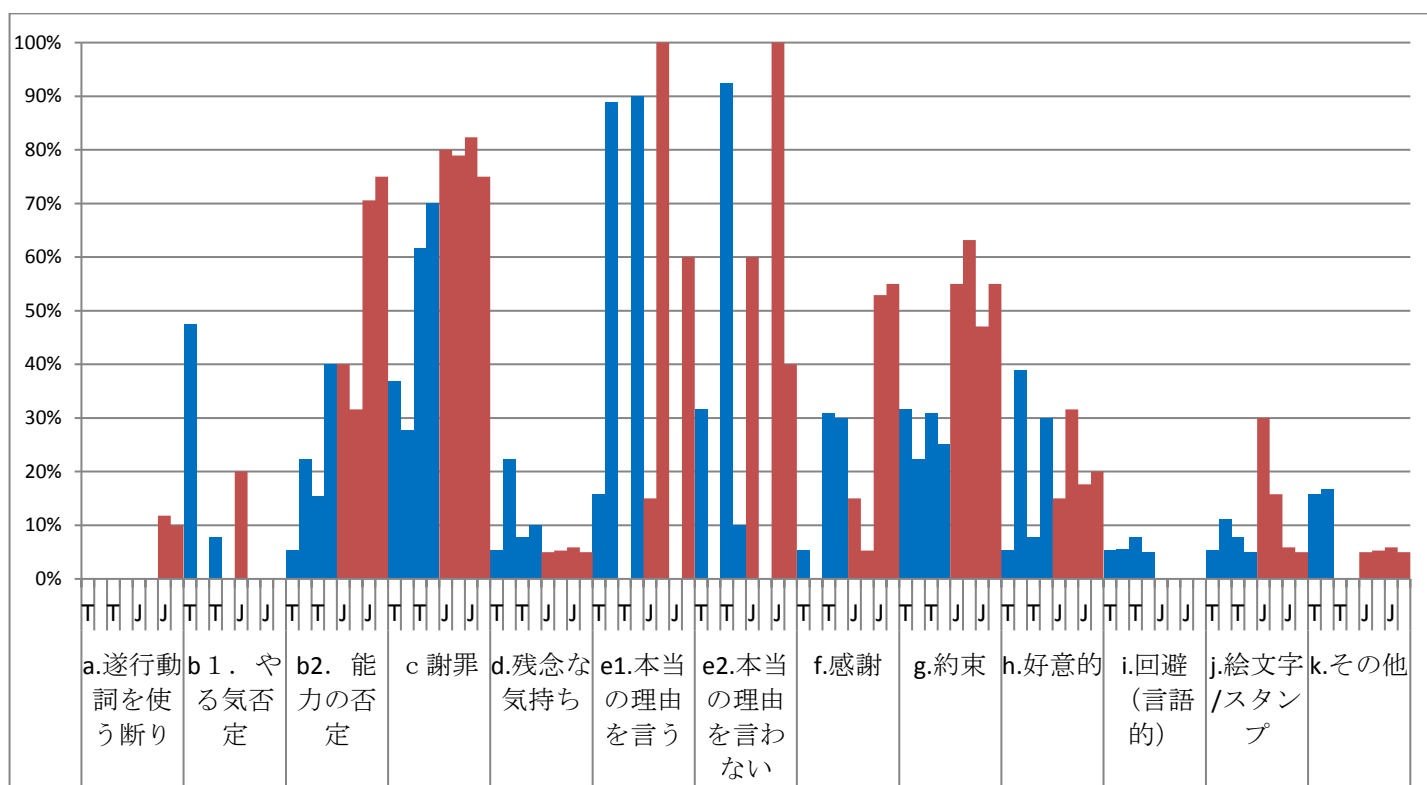
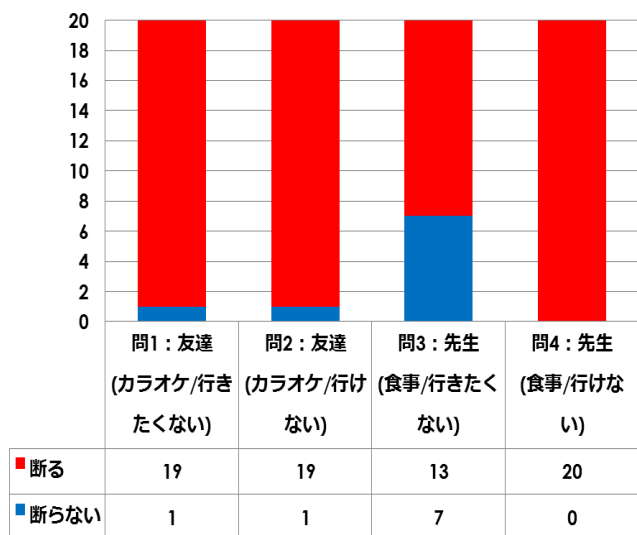


表3から、回答を意味公式に分類し、各意味公式の使用度数を検討したところ、理由、謝罪、直接的な断り、3つの意味公式の使用率が多いということが分かってきた。

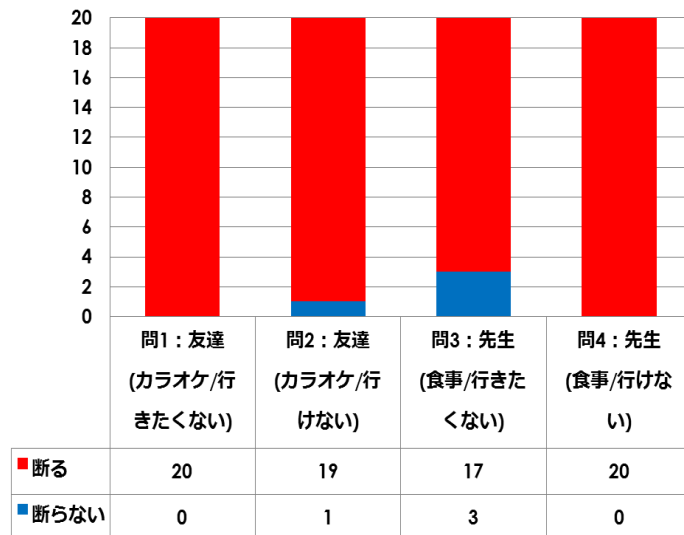
## 5.1 誘いを断るか断らないか

回答を聞いたから、断らない人がいるので、「断らない」という特別な項目も作成した。

タイ人



日本人



結果を見ると、タイ人大学生は先生に対する行きたくない気分の場合で断らない人が日本人大学生より多いということが分かる。



## 5.2 意味公式の数

回答例	<u>ごめんね、</u> <u>今日は用事があつて</u> <u>行けないんだ。</u> <u>また今度誘ってね。</u>			
意味公式例	謝罪	理由	直接的な断り	約束

例文を見ると、4つの意味公式を分かれる。それで、意味公式の数はそれぞれの回答から数える。

次はタイ人大学生と日本人大学生の回答の意味公式の数

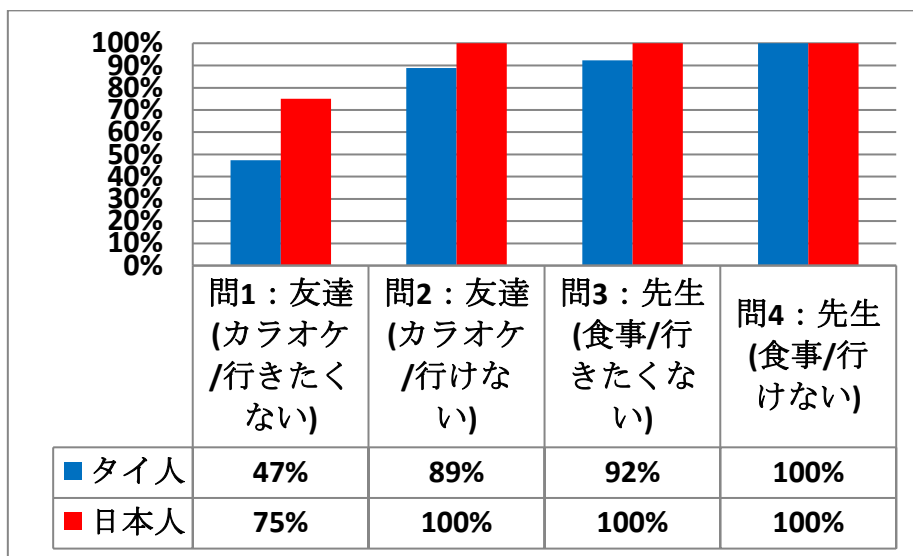
	問1：友達 (カラオケ/ 行きたくない)	問2：友達 (カラオケ/ 行けない)	問3：先生 (食事/ 行きたくない)	問4：先生 (食事/行けない)
タイ人	2.7	2.8	3	3.3
日本人	3.6	3.7	4.4	4.3

結果を見ると、タイ人大学生と日本人大学生に両方とも友達に対して意味公式の数が少ないが、先生に対して意味公式の数が多くなる。

また、すべての場面は日本人大学生がタイ人大学生より意味公式の数が多いということが分かる。

### 5.3 理由の意味公式の使用率

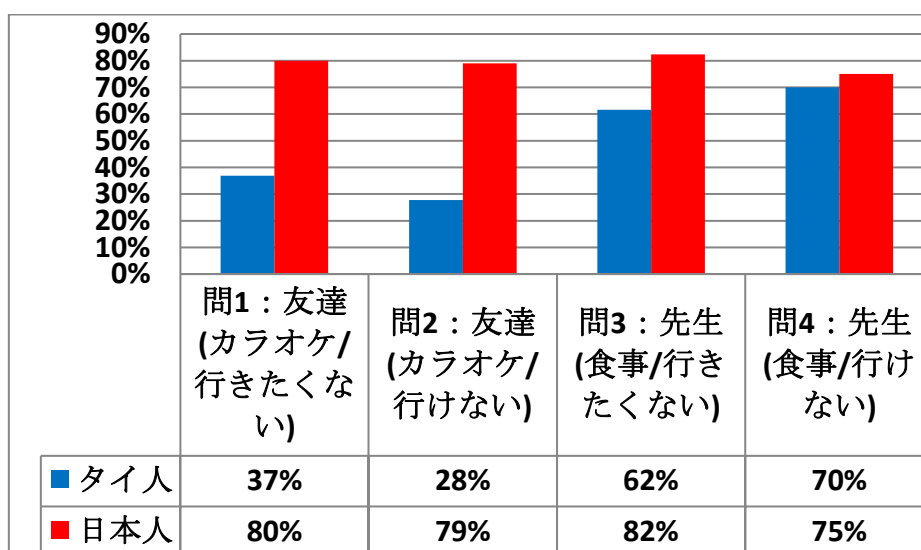
意味公式の使用率が一番多いのは理由という意味公式である。



結果を見ると、タイ人大学生と日本人大学生に両方ともだいたい理由を言う。特に、先生に対して学生達がほぼ100%か100%で理由を言うということが分かる。

### 5.4 謝罪の意味公式の使用率

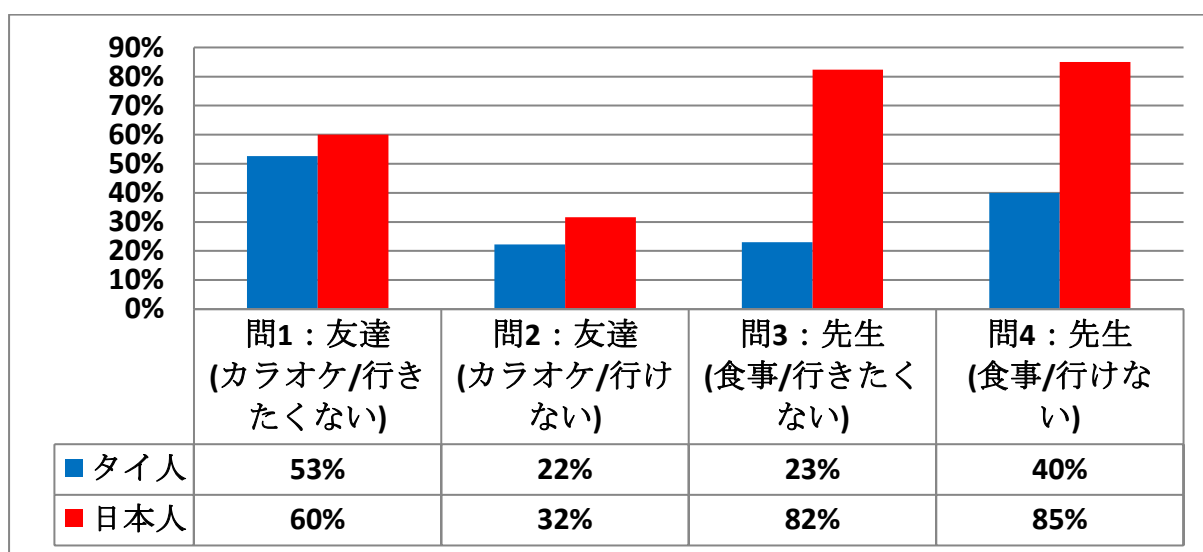
意味公式の使用率が二番多いのは謝罪という意味公式である。



結果を見ると、タイ人学生より日本人大学生の謝罪の意味公式の使用率が多い。日本人大学生はすべての場面に同じぐらい謝罪を言う。逆に、タイ人大学生は友達に対して謝罪をあまり言わない。しかし、先生に対して謝罪の意味公式の使用率が多くなるということが分かる。

### 5.5 直接的な断りの意味公式の使用率

意味公式の使用率が三番多いのは直接的な断りという意味公式である。



結果を見ると、日本人大学生は理由の後に直接的な断りを使う。逆に、タイ人大学生は理由の後に直接的な断りをあまり使わないということが分かる。

## 6.まとめ

以上、日本人大学生とタイ人大学生に対する勧誘場面についての言語行動調査を行い、断りのメッセージの意味公式の使用率について、分析しました。その結果、タイ人大学生と日本人大学生の意味公式には共通点と相違点があることが明らかになった。共通点はタイ人大学生と日本人大学生両方ともほとんど理由を言う。相違点タイ人大学生は理由の後に直接的な断りをあまり使わない。

一方に、日本人は理由の後に直接的な断りを使う。また、謝罪や約束などの意味公式をたくさん使う。そのため、日本人の断りの意味公式の数はタイ人より多くなる。

しかしながら、人間関係を維持するために、具体的にどのような表現を使えば良いかについては考察することができなかった。

この点を明らかにするために、今後それぞれの意味公式の表現について詳しく分析をする必要があると思われる。

## 7.参考文献

成田昌子・成田高宏(2010)「『申し出の断り』表現における日本語・タイ語母語話者、およびタイ人日本語が学習者の意味公式の相違」『小出記念日本語教育研究会 18』 pp.23-37

伊藤恵美子(2010)「依頼場面に見られる断り表現の特徴：日本語・ジャワ語・インドネシア語・タイ語の比較」『留学生教育』第 15 号, pp.35-44

吉田好美(2011)「勧誘場面におけること断りのコミュニケーションに見られる代案について：日本人女子学生とインドネシア人女子学生の比較」『群馬大学国際教育・研究センター論集』第 10 号, pp.17-31

生駒知子・志村明彦(1992)「英語から日本語へのプラグマティック・トランスファー：『断り』という発話行為について」『日本語教育』第 79 号, pp.41-52